

水道のことは水道局まで ☎ 83-4111

水とくらし



各戸の給水管は個人財産で、本市でも古い給水管が多く残っています。40～50年を経過した給水管は、家の建替えや改築を機に、防災面からも更新をご検討ください。

◎能登の断水が5か月続いた原因

能登半島地震では、水道施設に甚大な被害が発生し、北部を中心に11万戸で断水となりました。5月末まで続いた断水の原因は、道路の寸断や水道管をはじめとし

た水道施設の耐震性能が低かったことによるものです。被災直後に全国から水道事業者・工業者が現地入りし、配水池や公道下の水道管は懸命な復旧が進んだものの、早期の断水解消を阻むもう一つの原因がありました。

◎復旧を阻んだもう一つの原因

家屋倒壊が少ない地区でも通水を再開すると、送水しても各家庭に引き込まれている給水管から漏れていく状況でした。1軒ずつの漏水を調査・修理しながら通水エリアを数軒分ずつ広げていくため、早期の断水解消にはなりませんでした。